



かわ 革ひと

ものづくり作家が集う桐生の街に、
2022（令和4）年8月、東京下
町の革工場で経験を積んだ生粋の革
職人が、新たに工房を構えた。

その名は「革ひと」。バッグや小物
などオリジナルの革製品制作を中心
に、OEMや修理・染直しにも対応。
ポーチやキーケースなど革小物を手
作りする体験工房も手掛け、県外か
らの体験客も多く訪れ人気を博す。

代表で職人の平塚貴司さんは、町
工場が多い東京都葛飾区に生まれ育
った。家業の革製品製造会社で25年
もの長きに亘り勤め上げたが、個々
のお客様と対話しつつ革そのものと
じっくり向き合い、より手間暇をか
けてこだわり抜いた革製品を作りた
いとの想いから、独立を決断した。

東京との程よい距離感と自然環境
を兼ね備えた地方での起業を構想。
住宅を兼ねつつ革工房としての活用
に耐える物件は限られ、さらに「通
りがかりで気になつた人が立ち止ま
れる場所」という平塚さんの想いな
ど様々な条件を満たす場所を探つた
結果、交通量のさほど多くない道に



【革ひと】

- 住所／桐生市東7-1-48 ●電話／0277-32-4177
- 営業時間／10:00～19:00 ●定休日／木曜日
- E-mail／kawahito555@outlook.jp
- HP／<https://kawahito555.wixsite.com/my-site-1>
- @kawahito6222

ものづくり作家が集う桐生の街に、
2022（令和4）年8月、東京下
町の革工場で経験を積んだ生粋の革
職人が、新たに工房を構えた。

面した現在の建物が最適な物件とな
り、桐生への移住を決めた。

桐生がものづくりの盛んな地であ
ることを知ったのは、移住後のこと
だった。様々なものづくり作家が集
まる展覧会やオープンファクトリー
企画にも出展し、偶然工房を構えた
桐生の地に早くもフィットした。

今後は桐生産織物や生地と革のコ
ラボ製品の開発にも取り組みたいと
語る平塚さん。革と人をつなぐ革工
房「革ひと」が、レザークラフトと
桐生の伝統技術との架け橋も担い、
ものづくり産地・桐生の新たな魅力
を醸成する。

自分だけの作品ができる体験工房も充実！ ものづくり産地・桐生で革の可能性を探る